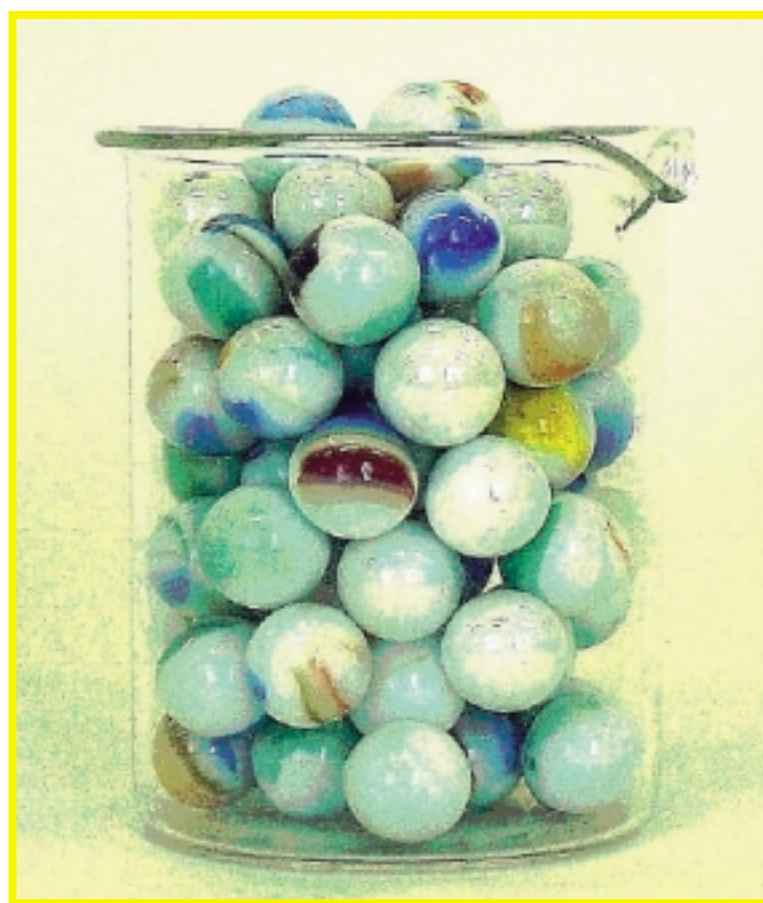


奈良県キャリア教育プラン

- 子どもを自立した社会人に育てるために -



奈良県教育委員会

奈良県キャリア教育プランのねらい

キャリア教育が求められる背景

夢のある将来を描きにくい状況

働く大人の姿が見えにくい状況

子どもたちの学習意欲の低下

子どもたちの規範意識の低下

フリーター、ニートの増加

雇用のミスマッチ、早期離職者の増加

キャリア教育の目的

勤労観、職業観の育成

社会人として求められる
知識・技能・態度の育成

職業人として
必要な能力の育成

子どもを自立した社会人に育てる

自己の理解

指導プログラムの
サイクル

動機付け・意識化

体験的な活動

奈良県キャリア教育プランの展開

発達段階に応じた体験的な活動例

小学校

他者との関係を深め、集団の中で自己を生かすための活動

町たんけん 校区たんけん
生活、社会
1～3年生 10時間

ボランティア活動
特別活動、総合的な学習の時間
全学年 8時間

奈良の伝統産業新聞づくり
国語、社会
4年生 10時間

子ども参観日(職場見学)
社会、総合的な学習の時間
3～6年生 5時間

交流体験(国際・幼稚園等)
生活、総合的な学習の時間
全学年 10時間

職業人講話
社会、総合的な学習の時間
3～6年生 5時間



町たんけん



校区たんけん

中学校

社会での自立に向けた準備を整えるための活動

職場体験の礼状を書く
国語
2年生 3時間

私のしごと館訪問(疑似職場体験)
特別活動
1・2年生 8時間

交流体験(国際・幼稚園等)
技術・家庭、特別活動
1・2年生 10時間

職場体験
特別活動、総合的な学習の時間
2年生 30時間

上級学校・職場訪問
特別活動、総合的な学習の時間
2・3年生 6時間

キャリアセミナー 職業人講話
特別活動
2年生 4時間



幼児との交流
体験



職場体験

高等学校

社会での自立を控え、目標に向けて力を付けるための活動

ディベート演習
国語表現・、総合的な学習の時間等
全学年 4時間

ボランティア体験
学校設定教科・科目等
全学年 35～70時間

起業家体験実習
公民・商業・学校設定教科・科目等
全学年 35時間

インターンシップ(就業体験)
学校設定教科・科目等
1・2年 35～70時間

企業・上級学校の見学
総合的な学習の時間等
3年(4年) 2時間

キャリアセミナー(職業人講習)
学校行事等
全学年 4時間



行政インターン
シップ



ボランティア体験

子どもたちを自立した社会人に育てるための指導プログラム（例）

校 種 等		小 学 校、小 学 部			中 学 校、中 学 部		高 等 学 校、高 等 部			
学 年 等		保育所、幼稚園、幼稚部	低学年（1、2年）	中学年（3、4年）	高学年（5、6年）	1、2年	3年	1、2年	3年（4年）	
自立した社会人への段階		好きなことを見付け、他者との関係を築く時期			他者との関係を深め、集団の中で自己を生かす時期		社会での自立に向けた準備を整える時期		社会での自立を控え、目標に向けて力を付ける時期	
人間関係形成能力	【自他の理解能力】 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・協同してものごとに取り組む。	自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動することができる。	・友だちと一緒に活動する楽しさを味わわせる。 ・うれしいことや嫌なことをはっきりと言うようにさせる。 ・友だちと助け合って仲良く遊ぶようにさせる。 ・お世話になった人などに感謝の気持ちを表出するようにさせる。	・自分や相手の良いところを見付け、励まし合うようにさせる。 ・自分の生活を支える人々の存在に感謝の気持ちを表出するようにさせる。	・自分の長所や短所に気付かせ、自分らしさを発揮させる。 ・自分と異なる意見も理解させ、話し合い活動に積極的に参加させる。	・他者の長所や感情を理解するようにさせる。 ・自分の言動が他者に与える影響を理解させる。	・自分の個性を自覚させ、自分の言動に責任をもたせる。 ・他者の感情を理解させ、互いに支え合い分かり合える友人関係を築かせる。	・様々な機会を捉え、自己の職業的な能力・適性に気付かせる。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解させ、それを受け入れさせる。	・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れ一層高めるよう努力させる。 ・他者の価値観や個性を理解し、それを受け入れて自己の考え方を広げたり深めたりするようにさせる。	
	【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、適切なコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たすことができる。	遊ぶことを通して、友だちの良さを見付ける。	給食調理の様子を見学して、気付いたことを手紙に書く。	ボランティア活動を行い、今まで気付かなかった友だちの姿を発見する。	学級の行事を計画・立案するために、友だちの様々な意見を聞き、自分の意見をはっきりと言う。	野外活動で、キャンプファイヤーのスタンプを、グループで意見を交換して決める。	文化祭等の企画・立案に積極的にかわり、自他の思いや感情を理解し、受け入れる。	行政インターンシップ実習を行い、進んで様々な仕事に取り組む。	事業所や上級学校を見学し、自己の適性を発揮できる環境かを判断する。	
	あいさつや返事ができる。 → 世話になった人に感謝の気持ちを表現する。互いに信頼し合い協力し合うなかまを得る。 → 相手を理解し、礼儀正しい言動ができる。 → 相手の立場や考えを尊重し、場面や目的に応じたコミュニケーションができる。		・あいさつや返事をさせる。	・気持ちのよいあいさつをはっきりとした返事をさせる。 ・お礼やおわびの言葉をきちんと言わせる。 ・自分の考えをみんなの前で言わせたり、人の話をきちんと聞かせる。	・礼儀の大切さを理解させ、相手の立場に立って応接させる。 ・自分の意見や気持ちを分かりやすく表現するようにさせる。 ・友だちと協力して学習や活動に取り組ませる。	・敬語を正しく使わせるなど、礼儀をわきまえた行動ができるようにさせる。 ・思いやりをもち、相手の立場に立って考え、行動するようにさせる。 ・異年齢集団の活動に進んで参加させ、役割と責任を果たすようにさせる。	・相手の気持ちを思いやり、相手の立場で考え、行動するようにさせる。 ・人間関係の大切さを理解させ、礼儀正しくあいさつをさせる。 ・新しい環境や人間関係に適応できるようにさせる。	・時と場所、相手との関係をわきまえて、礼儀正しく応接させる。 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、互いに支え合って活動するようにさせる。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を理解させ、習得させる。	・自己の思いや意見を適切にかつ効果的に伝えさせ、他者の意思等を的確に理解させる。 ・異年齢の人など、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図らせる。	・リーダー・フォロアーズを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める取組をさせる。
情報活用能力	【情報収集・探索能力】 学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択を生かす。	進路や職業に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えることができる。	・自分の住んでいる地域で好きな場所を見付けさせる。 ・身近で働く人々の様子に興味・関心をもたせる。	・分らないことを調べる方法が多様にあることを理解させる。 ・図書館やインターネットで調べる方法を身に付けさせる。	・様々な職業の大切さに気付かせる。 ・様々な産業、職業の様子やその変化を理解させる。 ・自分の課題について調べたこと、まとめたことを発表させる。	・様々な職業があることや、それぞれの職業の大切さを理解させる。 ・様々なメディアを通して進路に関する情報を収集・整理させ、それらを活用させる。	・社会の構造の変化に伴って、職業が変化することを理解させる。 ・様々な方法を用いて、生き方や進路に関する情報を収集・整理させ、それらを基に将来を考えさせる。	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集めさせ、検討させる。 ・調べたことなどを、自分の考えを交え、各種メディアを活用して発表・発信させる。	・職業生活における権利・義務や責任、職業に就く手続き・方法などについて理解させる。 ・リーダー・フォロアーズを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める取組をさせる。	
	【職業理解能力】	様々な体験を通して、学校で学ぶことと社会生活、職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解することができる。	・人の役に立つことの喜びを味わわせる。 ・仕事の役割を担うことの大切さを理解させる。	・仕事の役割を担うことの大切さを理解させ、積極的に取り組ませる。 ・働くことの大切さを理解させる。 ・地域に様々な職業や生き方があることを理解させる。	・働くことの意義、社会に奉仕する喜びを理解させる。 ・学んだり体験したりしたことと、生活や職業との関連を考えさせる。 ・仕事に従事している人々の工夫や努力を理解させる。	・今学習していることが将来の職業選択に役立つことを理解させる。 ・勤労の尊さや意義を理解させる。	・将来の職業と関連付けて、今の学習の必要性や大切さを理解させる。 ・体験等を通して、働く人々の様々な思いを理解させる。	・就業体験等の社会参加や上級学校の体験入学等に取り組ませる。 ・多様な勤労観、職業観を理解させ、勤労、職業を正しく理解・認識させる。 ・勤労観、職業観を身に付け、勤労、職業について正しく認識させる。		
	【役割把握・認識能力】	生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めることができる。	・自分のことは自分でするようにさせる。 ・自分でできることについて考えさせ、役割の必要性を理解させる。	・互いの役割や役割分担の必要性を理解させる。 ・仕事の役割の関連性や変化に気付かせる。	・家庭生活や社会生活には、いろいろな役割があることやその大切さを理解させる。 ・集団における自分の役割や仕事の進め方を理解させる。 ・今の生活や学習が将来の生き方にかかわることを理解させる。	・よりよい集団活動をするために、役割分担や仕事の進め方を理解させ、自分の役割を責任をもって果たすようにさせる。 ・個人と社会とのかわりや、様々な職業の社会的役割を理解させ、生き方を考えさせる。	・将来の職業と関連付けて、今の学習の必要性や大切さを理解させる。 ・体験等を通して、働く人々の様々な思いを理解させる。	・就業体験等の社会参加や上級学校の体験入学等に取り組ませる。 ・多様な勤労観、職業観を理解させ、勤労、職業を正しく理解・認識させる。 ・勤労観、職業観を身に付け、勤労、職業について正しく認識させる。		
将来設計能力	【計画実行能力】	目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行することができる。	・物事を最後までやり遂げるようにさせる。 ・作業の準備や片付けをさせる。 ・約束や決まりを守らせる。	・将来の夢や希望をもたせる。 ・学習等の計画を立てたり、作業等の手順を考えたりすることの必要性に気付かせる。 ・あこがれとする職業に就くために、今しなければならぬことを考えさせる。	・将来を考慮することの大切さを理解させる。 ・夢や希望を職業に結び付け、今後の方向性をもたせる。 ・進路希望に基づいて目標を立てさせる。	・希望する職業への関心・意欲を高揚させる。 ・進路計画を立てる意義や方法を理解させ、具体的に作成させる。 ・進路の目標達成に向けて努力するようにさせる。	・生きがいとやりがいがあり、自己を生かせる進路や生き方について、様々な可能性を検討させる。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計させ、進路計画を立案させる。	・生きがい・やりがいがあり、自己を生かせる進路や生き方を、現実的に考えさせる。 ・将来設計、進路計画の見直しや再検討を行わせ、その実現に取り組ませる。		
	【選択能力】	様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行うことができる。	・自分の意思をもって物事に取り組むようにさせる。 ・自分の好きなもの、大切なものをもつようにさせる。 ・学校でして良いことと悪いことを理解させる。	・自分のやりたいこと、良いと思うことなどについて考えさせ、進んで取り組むようにさせる。 ・してはいけないことを理解させ、自制させる。	・自分が大人になったとき、どんな仕事をしたか考えさせる。 ・身近な大人に、自分の将来のことについて相談するようにさせる。	・身近な人と相談して進路を考えさせ、その実現に向けて必要な努力をするようにさせる。 ・自分の個性や興味・関心に基づいて、進路を選択させる。 ・いろいろな人と相談を基に進路を選択させ、目標に向けて努力させる。	・選択の基準となる自分なりの価値観、勤労観、職業観をもたせる。 ・多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で進路や学習を主体的に選択するようにさせる。	・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解させ、実現の可能性について検討させる。 ・選択結果を受容させ、決定に伴う責任を果たすようにさせる。		
	【課題解決能力】	意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適切に対応するとともに、希望する進路の実現に向け、自らの課題を設定してその解決に取り組むことができる。	・自分でできることを見付けるようにさせる。 ・友だちと楽しく遊ぶにはどのようにすればよいか考えて遊ぶ。	・自分で課題を見付けて、することを決めるようにさせる。 ・町たんけんて知りたいたいことを自分で決める。	・自分の仕事に粘り強く取り組むようにさせる。 ・自分の力で課題を解決するようにさせる。 ・クラスの活動で計画どおりに進まなかった場合、その原因を一緒に考える。	・生活や学習上の課題を見付け、見通しをもって自分の力で解決できるようにさせる。 ・将来の夢や希望をもたせ、実現に向けて努力するようにさせる。 ・代表委員会等で学校生活にかかわる様々な課題について、自分たちで話し合い、解決する。	・よりよい生活や学習を目指して、自ら課題を見付けていくことの大切さを理解させる。 ・様々な課題の解決に向けて主体的に取り組むようにさせる。 ・地域のボランティア活動に参加し、活動の効果を上げるためにどのように取り組んでいるのかを発表する。	・確かな進路選択に当たって、学習や進路選択の過程を振り返らせる。 ・よりよい進路や生き方を目指す上での課題に気付かせ、解決に向けて取り組ませる。 ・学級活動で、進路選択にかかわる課題に対して、どのように克服しようとしているのかを発表する。	・自己の現状を把握させ、将来設計、進路希望の実現のための様々な課題に気付かせる。 ・自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討させる。 ・インターンシップ実習でぶつかる様々な壁から自分の課題に気付かせ、その解決に取り組む。	・将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定させ、その解決に取り組ませる。 ・理想と現実との葛藤体験等を通して、様々な困難を克服するスキルを身に付けさせる。 ・ボランティア活動に参加し、援助等を効果的に行うための課題に気付かせ、その解決に取り組む。
意思決定能力	【課題解決能力】	自分で考え自分で行動する。 → 責任をもって行動する。 → 将来への展望をもって、課題解決に取り組む。 → 自分を理解し、進路実現に向けた準備に取り組む。	・自分でできることを見付けるようにさせる。 ・友だちと楽しく遊ぶにはどのようにすればよいか考えて遊ぶ。	・自分で課題を見付けて、することを決めるようにさせる。 ・町たんけんて知りたいたいことを自分で決める。	・自分の仕事に粘り強く取り組むようにさせる。 ・自分の力で課題を解決するようにさせる。 ・クラスの活動で計画どおりに進まなかった場合、その原因を一緒に考える。	・生活や学習上の課題を見付け、見通しをもって自分の力で解決できるようにさせる。 ・将来の夢や希望をもたせ、実現に向けて努力するようにさせる。 ・代表委員会等で学校生活にかかわる様々な課題について、自分たちで話し合い、解決する。	・確かな進路選択に当たって、学習や進路選択の過程を振り返らせる。 ・よりよい進路や生き方を目指す上での課題に気付かせ、解決に向けて取り組ませる。 ・学級活動で、進路選択にかかわる課題に対して、どのように克服しようとしているのかを発表する。	・自己の現状を把握させ、将来設計、進路希望の実現のための様々な課題に気付かせる。 ・自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討させる。 ・インターンシップ実習でぶつかる様々な壁から自分の課題に気付かせ、その解決に取り組む。	・将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定させ、その解決に取り組ませる。 ・理想と現実との葛藤体験等を通して、様々な困難を克服するスキルを身に付けさせる。 ・ボランティア活動に参加し、援助等を効果的に行うための課題に気付かせ、その解決に取り組む。	

表中の 印は、各発達段階ごとの活動例を示しています。また、盲・ろう・養護学校の各学部では、上記の活動例を参考に、社会参加と自立を目指し、一人一人の発達段階に応じて「個別の指導計画」を作成する必要があります。

校 種 等		保育所、幼稚園、幼稚部	低学年（1、2年）	
学 年 等		自立した社会人への段階		
人間関係形成能力		<p>【自他の理解能力】</p> <p>自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動することができる。</p> <p>【コミュニケーション能力】</p> <p>多様な集団・組織の中で、適切なコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たすことができる。</p>	<p>・友だちと一緒に活動する楽しさを味わわせる。</p> <p>・遊ぶことを通して、友だちのよさを見付ける。</p>	<p>・うれしいことや嫌なことをはっきりと言うようにさせる。</p> <p>・友だちと助け合って仲良く遊ぶようにさせる。</p> <p>・お世話になった人などに感謝の気持ちを表出するようにさせる。</p> <p>給食調理の様子を見学して、気付いたことを手紙に書く。</p>
		あいさつや返事ができる。		
		<p>・あいさつや返事をさせる。</p> <p>登園(校・所)時に、友だちや先生などに進んであいさつをする。</p>	<p>・気持ちのよいあいさつやはっきりとした返事をさせる。</p> <p>・お礼やおわびの言葉をきちんと言わせる。</p> <p>・自分の考えをみんなの前で言わせたり、人の話をきちんと聞かせたりする。</p> <p>幼児を招待して、いっしょに楽しく遊ぶ。</p>	
情報活用能力		<p>【情報収集・探索能力】</p> <p>進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えることができる。</p> <p>【職業理解能力】</p> <p>様々な体験を通して、学校で学ぶことと社会生活、職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解することができる。</p>	<p>・自分の住んでいる地域で好きな場所を見付けさせる。</p> <p>園(校・所)外での活動で、身近な人や自然に興味をもつ。</p>	<p>・身近で働く人々の様子に興味・関心をもたせる。</p> <p>町たんけんで、どこに行ってもどんな話を聞けばよいか考え、調べる。</p>
		手伝いができる。働くことに関心をもつ。		
		<p>・人の役に立つことの喜びを味わわせる。</p> <p>みんなの前で、自分のした手伝いの内容を話す。</p>	<p>・仕事の役割を分担することの大切さを理解させる。</p> <p>給食当番で、決められた時間内に確実に配膳できるように協力し合う。</p>	
将来設計能力		<p>【役割把握・認識能力】</p> <p>生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めることができる。</p> <p>【計画実行能力】</p> <p>目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行することができる。</p>	<p>・自分のことは自分でするようにさせる。</p> <p>自分の役割を意識し、ごっこ遊びをする。</p>	<p>・自分にできることについて考えさせ、役割の必要性を理解させる。</p> <p>家庭で自分にできる仕事を見付け、責任をもって役割を果たす。</p>
		自己の役割を知る。		
		<p>・物事を最後までやり遂げるようにさせる。</p> <p>作品を最後までかいたりついたりする。</p>	<p>・作業の準備や片付けをさせる。</p> <p>・約束や決まりを守らせる。</p> <p>遠足や校外学習を楽しいものにするための、決まりや約束を覚えて守る。</p>	
意思決定能力		<p>【選択能力】</p> <p>様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行うことができる。</p> <p>【課題解決能力】</p> <p>意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自らの課題を設定してその解決に取り組むことができる。</p>	<p>・自分の意思をもって物事に取り組むようにさせる。</p> <p>したい遊びを自分で選んで遊ぶ。</p>	<p>・自分の好きなもの、大切なものをもつようにさせる。</p> <p>・学校でして良いことと悪いことを理解させる。</p> <p>安全で楽しい学校生活を送るために、みんなでクラスの決まりを考える。</p>
		自分で考え自分で行動する。		
		<p>・自分でできることを見付けるようにさせる。</p> <p>友だちと楽しく遊ぶにはどのようにすればよいか考えて遊ぶ。</p>	<p>・自分で課題を見付けて、することを決めるようにさせる。</p> <p>町たんけんで知りたいことを自分で決める。</p>	

表中の 印は、各発達段階ごとの活動例を示しています。また、盲・ろう・養護学校の各学部では、上記の活動例を参考に、社会参加と自立を目指し

子どもたちを自立した社会人に育

小 学 校、 小 学 部

中学年（3、4年）

高学年（5、6年）

他者との関係を深め、集団の中で自己を生かす時期

<ul style="list-style-type: none"> 自分や相手の良いところを見付け、励まし合うようにさせる。 自分の生活を支える人々の存在に感謝の気持ちを表出するようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所や短所に気付かせ、自分らしさを発揮させる。 自分と異なる意見も理解させ、話し合い活動に積極的に参加させる。
<p>ボランティア活動を行い、今まで気付かなかった友だちの姿を発見する。</p>	<p>学級の行事を計画・立案するために、友だちの様々な意見を聞き、自分の意見をはっきりと言う。</p>

世話になった人に感謝の気持ちを表現する。互いに信頼し合い協力し合うなかまを得る。

<ul style="list-style-type: none"> 礼儀の大切さを理解させ、相手の立場に立って応接させる。 自分の意見や気持ちを分かりやすく表現するようにさせる。 友だちと協力して学習や活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬語を正しく使わせるなど、礼儀をわきまえた行動ができるようにさせる。 思いやりをもち、相手の立場に立って考え、行動するようにさせる。 異年齢集団の活動に進んで参加させ、役割と責任を果たすようにさせる。
<p>校区たんけん、様々な人と出会い、自分の質問を正確に伝える。</p>	<p>礼儀作法やその意義を知るため、茶道や能・狂言などの伝統文化を体験する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 分からないことを調べる方法が多様にあることを理解させる。 図書館やインターネットで調べる方法を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な職業の大切さに気付かせる。 様々な産業、職業の様子やその変化を理解させる。 自分の課題について調べたこと、まとめたことを発表させる。
<p>奈良の伝統産業について、様々な方法で情報を収集する。</p>	<p>「私のしごと館」を訪問し、様々な職業について調べる。</p>

いろいろな職業があること、働くことの意義がわかる。

<ul style="list-style-type: none"> 仕事の役割を分担することの大切さを理解させ、積極的に取り組ませる。 働くことの大切さを理解させる。 地域に様々な職業や生き方があることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意義、社会に奉仕する喜びを理解させる。 学んだり体験したりしたこと、生活や職業との関連を考えさせる。 仕事に従事している人々の工夫や努力を理解させる。
<p>伝統産業や地場産業の職場を見学し、その産業が地域に定着している理由や地域に与えている影響などについて考える。</p>	<p>職場見学を行い、仕事に従事している人の工夫や努力について聞く。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 互いの役割や役割分担の必要性を理解させる。 仕事の役割の関連性や変化に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活や社会生活には、いろいろな役割があることやその大切さを理解させる。 日常生活や学習と将来の生き方との関係に気付かせる。
<p>音楽会で美しいハーモニーを奏するため、いろいろな楽器を分担して合奏する。</p>	<p>運動会の係分担を行い、自分が果たすべき役割や事後の反省を発表する。</p>

自己の役割を理解し、計画を立てて実行する。

<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や希望をもたせる。 学習等の計画を立てたり、作業等の手順を考えたりすることの必要性に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来を考えることの大切さを理解させる。 あこがれとする職業に就くために、今しなければならないことを考えさせる。
<p>みんなが楽しめる学級集会にするためのプログラムを考える。</p>	<p>タイムカプセルに自分の夢を書いた紙を入れて埋める。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいこと、良いと思うことなどについて考えさせ、進んで取り組むようにさせる。 してはいけないことを理解させ、自制させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が大人になったとき、どんな仕事をしたいかを考えさせる。 身近な大人に、自分の将来のことについて相談するようにさせる。
<p>よりよい学級生活を送るため、必要な係を考え、活動する。</p>	<p>自分の夢や将来の目標について、複数の身近な大人に話し、意見を聞く。</p>

責任をもって行動する。

<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事に粘り強く取り組むようにさせる。 自分の力で課題を解決するようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や学習上の課題を見付け、見通しをもって自分の力で解決するようにさせる。 将来の夢や希望をもたせ、実現に向けて努力するようにさせる。
<p>クラスの活動で計画どおりに進まなかった場合、その原因を一緒に考える。</p>	<p>代表委員会等で学校生活にかかわる様々な課題について、自分たちで話し合い、解決する。</p>

一人一人の発達段階に応じて「個別の指導計画」を作成する必要があります。

育てるための指導プログラム（例）

中学校、 中 学 部	
1、2年	3年
社会での自立に向けた準備を整える時期	
<ul style="list-style-type: none"> ・他者の長所や感情を理解するようにさせる。 ・自分の言動が他者に与える影響を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性を自覚させ、自分の言動に責任をもたせる。 ・他者の感情を理解させ、互いに支え合い分かり合える友人関係を築かせる。
野外活動で、キャンプファイヤーのスタンプを、グループで意見を交換して決める。	文化祭等の企画・立案に積極的にかかわり、自他の思いや感情を理解し、受け入れる。
→ 相手を理解し、礼儀正しい言動ができる。 →	
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを思いやり、相手の立場で考え、行動するようにさせる。 ・人間関係の大切さを理解させ、礼儀正しくあいさつをさせる。 ・新しい環境や人間関係に適応できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場所、相手との関係をわきまえて、礼儀正しく応接させる。 ・リーダーとフォロアーの立場を理解し、互いに支え合って活動するようにさせる。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を理解させ、習得させる。
職場体験にかかわり、適切な言葉を用いて受入先に依頼状や礼状を書く。	テーブルマナー講習会を企画し、サービスをする立場、受ける立場の両方を体験する。
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業があることや、それぞれの職業の大切さを理解させる。 ・様々なメディアを通して進路に関する情報を収集・整理させ、それらを活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の構造の変化に伴って、職業が変化することを理解させる。 ・様々な方法を用いて、生き方や進路に関する情報を収集・整理させ、それらを基に将来を考えさせる。
「私のしごと館」を訪問し、様々な職業についての情報を収集・整理し、発表する。	事業所や上級学校などを見学し、自己の進路選択に役立てるため、様々な情報を収集・整理し、検討する。
→ いろいろな情報を収集し、職業を理解する。 →	
<ul style="list-style-type: none"> ・今学習していることが将来の職業選択に役立つことを理解させる。 ・勤労の尊さや意義を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業と関連付けて、今の学習の必要性や大切さを理解させる。 ・体験等を通して、働く人々の様々な思いを理解させる。
職場体験で気付いた、働くことの意義を報告集にまとめる。	キャリアセミナー等で職業人の話を聞き、仕事や学習の意義を発表し合う。
<ul style="list-style-type: none"> ・集団における自分の役割や仕事の進め方を理解させる。 ・今の生活や学習が将来の生き方にかかわることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい集団活動をするために、役割分担や仕事の進め方を理解させ、自分の役割を責任をもって果たすようにさせる。 ・個人と社会とのかかわりや、様々な職業の社会的役割を理解させ、生き方を考えさせる。
学級活動にどのような係が必要か話し合い、自らの責任を果たす。	生徒会活動に積極的に参加し、自らの責任を果たす。
→ 集団の中で自己の役割を理解し、将来の目標をもつ。 →	
<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を職業に結び付け、今後の方向性をもたせる。 ・進路希望に基づいて目標を立てさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する職業への関心・意欲を高揚させる。 ・進路計画を立てる意義や方法を理解させ、具体的に作成させる。 ・進路の目標達成に向けて努力するようにさせる。
自分史を年表にまとめ、これまでを振り返るとともに将来の自分を考える。	学級で、事業所や上級学校の見学・訪問を計画・実行し、報告書にまとめる。
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人と相談して進路を考えさせ、その実現に向けて必要な努力をするようにさせる。 ・選択の過程や結果には自己責任が伴うことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性と興味・関心に基づいて、進路を選択させる。 ・いろいろな人との相談を基に進路を選択させ、目標に向けて努力させる。
社会人・職業人の話を参考にして進路を考え、学習の目標や計画を立てる。	事業所や上級学校の見学・訪問を通して、進路を決定するための課題を見付け、実現に向けて努力する。
→ 将来への展望をもって、課題解決に取り組む。 →	
<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活や学習を目指して、自ら課題を見付けていくことの大切さを理解させる。 ・様々な課題の解決に向けて主体的に取り組むようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな進路選択に当たって、学習や進路選択の過程を振り返らせる。 ・よりよい進路や生き方を目指す上での課題に気付かせ、解決に向けて取り組ませる。
地域のボランティア活動に参加し、活動の効果を上げるためにどのように取り組んでいるかを考え、まとめる。	学級活動で、進路選択にかかわる課題に対して、どのように克服しようとしているのかを発表する。

高等学校、高等部

1、2年

3年(4年)

社会での自立を控え、目標に向けて力を付ける時期

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を捉え、自己の職業的な能力・適性に気付かせる。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解させ、それを受け入れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れ一層高めるよう努力させる。 ・他者の価値観や個性を理解し、それを受け入れて自己の考え方を広げたり深めたりするようにさせる。
<p>行政インターンシップ実習を行い、進んで様々な仕事に取り組む。</p>	<p>事業所や上級学校を見学し、自己の適性を発揮できる環境かを判断する。</p>

相手の立場や考えを尊重し、場面や目的に応じたコミュニケーションができる。

<ul style="list-style-type: none"> ・自己の思いや意見を適切に伝えさせ、他者の意思等を的確に理解させる。 ・異年齢の人など、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の思いや意見を適切にかつ効果的に伝えさせ、他者の意思等を的確に理解させる。 ・リーダー・フォロアシップを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める取組をさせる。
<p>インターンシップ実習の受入先との事前・事後の連絡や実習時に、相手の意図を理解し、自己の思いや意見を適切に伝える。</p>	<p>地域の施設等での実習で、異年齢の人等と適切なコミュニケーションを図り、自分に求められている役割を把握する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集めさせ、検討させる。 ・調べたことなどを、自分の考えを交え、各種メディアを活用して発表・発信させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活における権利・義務や責任、職業に就く手続き・方法などについて理解させる。 ・調べたことなどを、自分の考えを交え、各種メディアを活用して適切かつ効果的に発表・発信させる。
<p>地域についての理解を深め、奈良県を訪れる人の立場で校外学習や修学旅行を計画・立案し、インターネットで情報を発信する。</p>	<p>ディベートで、各種メディア等を活用して調べたことなどを、論理的に構成し、意見としてまとめる。</p>

勤労の尊さを理解し、自己の在り方・生き方を考える。

<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験等の社会参加や上級学校の体験入学等に取り組みさせる。 ・多様な勤労観、職業観を理解させ、勤労、職業を正しく理解・認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験等の社会参加や上級学校の体験入学等を基に、今しなければならぬことについての理解を深めさせる。 ・勤労観、職業観を身に付け、勤労、職業について正しく認識させる。
<p>インターンシップ実習で、受入先の人の仕事ぶりを見て、自分としてすべきことを考えて行動する。</p>	<p>キャリアセミナー(職業人講習)に参加し、キャリアアドバイザーの話を自分の目標と結び付けて聞き、その実現に向けて具体的に行動する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚させ、その役割を積極的に果たすようにさせる。 ・将来、自分が築く家庭や、それを基盤としてかわる社会に対して負う役割や責任を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解させる。 ・ライフステージに応じて個人が家庭や社会に対して負う役割や責任を、積極的に果たすようにさせる。
<p>将来、どのような家庭や社会を築いていきたいか話し合い、発表する。</p>	<p>文化祭の企画・運営に積極的に参画して、自分に求められている役割を把握し、それをどのように果たすことが効果的か考えて活動する。</p>

社会貢献を視野に入れた将来設計を行い、実現に向けて取り組む。

<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいとやりがいがあり、自己を生かせる進路や生き方について、様々な可能性を検討させる。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計させ、進路計画を立案させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい・やりがいがあり、自己を生かせる進路や生き方を、現実的に考えさせる。 ・将来設計、進路計画の見直しや再検討を行わせ、その実現に取り組みさせる。
<p>自分の適性を踏まえて将来の目標を設定し、その実現に必要な実習計画を立案して、学級で交流する。</p>	<p>販売体験やバーチャルカンパニーなど、現実に即した起業家育成プログラムに参加する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・選択の基準となる自分なりの価値観、勤労観、職業観をもたせる。 ・多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で進路や学習を主体的に選択するようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解させ、実現の可能性について検討させる。 ・選択結果を受容させ、決定に伴う責任を果たすようにさせる。
<p>「私のしごと館」を訪問するなどして、今ある目標以外の自分の可能性にも目を向け、多様な選択肢を用意して比較し、そこから再度絞り込む。</p>	<p>事業所や上級学校を見学して進路の具体的なイメージをつくり、その実現のために行動する。</p>

自分を理解し、進路実現に向けた準備に取り組む。

<ul style="list-style-type: none"> ・自己の現状を把握させ、将来設計、進路希望の実現のための様々な課題に気付かせる。 ・自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定させ、その解決に取り組ませる。 ・理想と現実との葛藤経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付けさせる。
<p>インターンシップ実習でぶつかる様々な壁から自分の課題に気付き、その解決に取り組む。</p>	<p>ボランティア活動に参加し、援助等を効果的に行うための課題に気付き、その解決に取り組む。</p>

奈良県キャリア教育プランについて

今日、産業・経済の構造的な変化や雇用の多様化・流動化等に伴い、子どもたちの進路を巡る環境が大きく変化する中で、若年者の早期離職の増加、ニートやフリーターの増加など、学校生活から社会生活へのスムーズな移行の難しい状況が生じています。

こうした状況の背景には、働くことへの関心・意欲の低さ、目的意識・責任感・基本的マナー等の欠如、未熟な対人関係能力などの課題があると考えられます。

これらの課題を克服するためには、子どもたち一人一人が望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己のよさや可能性に気付くとともに、夢や希望をもち、その実現に向けて努力していくことができるよう、組織的、系統的なキャリア教育を推進することが重要です。

この「奈良県キャリア教育プラン」では、小・中・高等学校の12年間を通して、集団生活に必要な規範意識やマナー、人間関係を築くコミュニケーション能力など、子どもたちのキャリア発達にかかわる幅広い能力の形成を支援し、働くことの意義や社会人として必要な知識・技能を習得できるよう、発達段階に応じて指導すべき内容と活動例を示しました。

すべての学校・園において、校内の体制を整えるとともに、家庭・地域に積極的に働きかけて学校・園の取組への参画を促し、企業・産業界との連携・協力のシステムを構築するなどして、子どもたちが自分の将来を見つめ、自立した社会人となるようこの「奈良県キャリア教育プラン」の趣旨に沿った、創意ある教育活動を展開されることを期待します。

平成17年3月

奈良県教育委員会教育長
矢和多 忠一

キャリア教育に御協力いただける機関

奈良労働局職業安定部	県内ハローワーク（公共職業安定所）
奈良しごとiセンター・高田しごとiセンター	ならジョブカフェ（ヤングコーナー）
奈良県商工会議所連合会	奈良県経営者協会
奈良県経済団体同友会	奈良県商工会連合会
奈良県中小企業団体中央会	奈良県建設業協会
奈良県職業能力開発協会	奈良職業能力開発促進センター（ポリテクセンター奈良）
独立行政法人雇用・能力開発機構 私のしごと館	独立行政法人雇用・能力開発機構 奈良センター
奈良県大学連合	財団法人大学コンソーシアム京都
奈良県地域労使就職支援機構	NPO 法人キャリアサポートセンター奈良

11月1日は「奈良県教育の日」 毎月第3日曜日は「家庭教育の日(いきいきサンデー)」

奈良県教育委員会事務局学校教育課
〒630-8502 奈良市登大路町30番地
電話番号（代表）0742-22-1101
URL <http://www.pref.nara.jp/kyoiku/>
E-mail gakkok@office.pref.nara.lg.jp

